【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公開番号】特開2008-296397(P2008-296397A)
【公開日】平成20年12月11日(2008.12.11)
【年通号数】公開・登録公報2008-049
【出願番号】特願2007-142009(P2007-142009)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　3/36　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/387　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　21/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　3/36　Ｔ
Ｈ０４Ｎ　1/387
Ｂ４１Ｊ　21/00　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成22年5月21日(2010.5.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
印刷画像作成用に入力された文字列を表示すると共に、第１の表示領域と第２の表示領域とを有する表示部と、
前記第１の表示領域および前記第２の表示領域のいずれかに、入力された文字列の変換候補を表示する変換候補表示手段と、を備え、
前記変換候補は、入力された文字列のうち未確定文字列から予測される予測変換候補であることを特徴とするテープ印刷装置。
【請求項２】
前記第１の表示領域は、入力編集中の文字列を表示させる入力編集領域であり、
前記第２の表示領域は、変換が確定した確定文字列の印刷レイアウトを表示させるレイアウト表示領域であり、
前記変換候補表示手段は、入力された文字列に未確定文字列がある場合に、前記予測変換候補を前記レイアウト表示領域に表示することを特徴とする請求項１に記載のテープ印刷装置。
【請求項３】
前記レイアウト表示領域に表示された予測変換候補の中から所望の候補を選択させて未確定の文字列を確定する確定手段と、
前記確定手段により未確定の文字列が確定された場合、前記レイアウト表示領域において、前記予測変換候補の表示から前記確定文字列の印刷レイアウトの表示に切替える切替手段を、更に備えたことを特徴とする請求項２に記載のテープ印刷装置。
【請求項４】
前記確定手段により確定された前記確定文字列に繋がる繋がり予測候補を表示する繋がり予測候補表示手段と、
前記確定手段により前記予測変換候補の中から文字列が確定された後、前記切替手段により前記確定文字列の印刷レイアウトの表示に切替えるレイアウト表示モードと、前記繋

がり予測候補表示手段により前記繋がり予測候補を表示する繋がり予測変換候補表示モードと、のいずれかのモードを設定するモード設定手段と、を更に備えたことを特徴とする請求項３に記載のテープ印刷装置。
【請求項５】
印刷画像作成用に入力された文字列を表示する表示部に、入力された文字列のうち未確定文字列から予測される予測変換候補を表示するテープ印刷装置の表示部の表示方法であって、
前記表示部は、入力編集中の文字列を表示させる入力編集領域と、変換が確定した確定文字列の印刷レイアウトを表示させるレイアウト表示領域と、から構成され、
入力された文字列に未確定文字列がある場合に、前記予測変換候補を前記レイアウト表示領域に表示することを特徴とするテープ印刷装置の表示部の表示方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明のテープ印刷装置は、印刷画像作成用に入力された文字列を表示すると共に、第１の表示領域と第２の表示領域とを有する表示部と、第１の表示領域および第２の表示領域のいずれかに、入力された文字列の変換候補を表示する変換候補表示手段と、を備え、変換候補は、入力された文字列のうち未確定文字列から予測される予測変換候補であることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明のテープ印刷装置の表示部の表示方法は、印刷画像作成用に入力された文字列を表示する表示部に、入力された文字列のうち未確定文字列から予測される予測変換候補を表示するテープ印刷装置の表示部の表示方法であって、表示部は、入力編集中の文字列を表示させる入力編集領域と、変換が確定した確定文字列の印刷レイアウトを表示させるレイアウト表示領域と、から構成され、入力された文字列に未確定文字列がある場合に、予測変換候補をレイアウト表示領域に表示することを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
これらの構成によれば、入力された文字列のうち未確定文字列から予測される予測変換候補を表示部に表示するので、印刷画像作成における入力編集作業を簡単かつ効率良く行うことができる。
また、変換が確定した確定文字列の印刷レイアウトを表示するレイアウト表示領域に、予測変換候補を表示するので、入力編集中の文字列の未確定文字と予測変換候補とを同時に表示することができる。このため、表示部全体が小さい場合であっても、表示領域を有効利用することができると共に、入力編集作業を促進させることができる。なお、文字列には、仮名漢字、ローマ字、数字、絵文字等が含まれる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
また、これらの場合、確定手段により確定された確定文字列に繋がる繋がり予測候補を表示する繋がり予測候補表示手段と、確定手段により予測変換候補から文字列が確定された後、切替手段により確定文字列の印刷レイアウトの表示に切替えるレイアウト表示モードと、繋がり予測候補表示手段により繋がり予測候補を表示する繋がり予測変換候補表示モードと、のいずれかのモードを設定するモード設定手段と、を更に備えたことが好ましい。